

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 2月1日放送分 とびっきりの好奇心を武器に ～高知発！建設機械メーカーの取り組み

2月1日放送分 とびっきりの好奇心を武器に ～高知発！建設機械メーカーの取り組み

2月1日(TX・TVO)

2日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

3日(BSJ)

高知県にある(株)技研製作所(資本金32億4,043万円、従業員184名)は、1975年に開発した油圧と引き抜き抵抗力を利用した鋼矢板圧入・引き抜き機をもとに、環境対応型の小型高性能で一体化した新工法システムを生み出した。

従来の売り切りから長期リースへビジネス形態を転換。

さらには、打ち込んだ鋼矢板で壁面を作り、地下駐輪場・駐車場のユニットシステムを開発した。

同社の独自技術を時代の変化に合わせ、新たな需要を創造する姿を紹介する。

とびっきりの好奇心を武器に

～高知発！建設機械メーカーの取り組み

～

[視聴覚教材No. TV14-44](#)

[J-Net21にて動画配信中!](#)



今回 志垣さんがやって来たのは高知工科大学。(株)技研製作所が開発した珍しい駐輪場があるとか・・・。

「志垣さんと(株)技研製作所の北村精男社長」



「エコサイクル」



これが、その駐輪場。自転車は地下にある。



入出庫は、カードを読み込ませるだけの簡単な操作。平均10秒という出庫スピード！

開発についてのお話を伺おうと技研製作所の社長室へ。そこには、なぜかおもちゃがいっぱい！？



北村社長は、好奇心が旺盛。いろいろなものに興味がある。さきほどのおもちゃに対しても、「面白い！楽しい！」と。

POINT: おもしろいと思うことが発想の肥



同社は、土木工事で杭を打つ作業のときに出る大きな音と振動という悩みを解決させる建設機械を開発し、設立した。その延長線上で、さらなる地下開発を手がけている。

POINT: 杭を打ち込む機械で地下に付加価値をつくる



「サイレントパイラー」



実際に作業を目の当たりにすると、その静かさにビックリ！「建設業界は今、低迷しているが、新しい技術が発展しなかったから低迷している。」と北村社長は語る。

同社は全てが地下開発の機械。地下駐車輪車。そして、これは地下駐車場。

POINT: 地下開発は宝の山



無振動・無騒音の「サイレントパイラー」を



共同開発した(株)垣内の垣内会長に技研製作所の強みを伺うと、「好奇心を持っていることと、単なる新しがり屋ではなく、基礎があって、新しいことにチャレンジするから。」と。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN